オーケストラ・アンサンブル金沢

文化庁文化芸術振興費補助金
（舞台芸術創造活動活性化事業）

Orchestra Ensemble Kanazawa 30th Anniversary

第34回東京定期公演

井上道義×OEK

音楽監督最後の共演は、
ハイドン交響曲「朝」「昼」「晩」
ライジングスター、反田恭平との
プーランク「朝の歌」

2018.3.19（月） 19:00開演（18:15開場）
サントリーホール

ピアノ
反田恭平
©Andrea Monachello

指揮
井上道義
オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督

プーランク
オーバード（朝の歌）
ピアノと18の楽器のための舞踊協奏曲

ハイドン
交響曲 第6番 ニ長調「朝」
交響曲 第7番 ハ長調「昼」
交響曲 第8番 ト長調「晩」

全席指定（税込）
S席6,000円　A席5,000円
B席4,000円　C席2,000円

25才以下 当日券を50%オフでご購入いただけます！（要年齢証明書等）

プレイガイド
サントリーホールチケットセンター
Tel.0570-55-0017

カジモト・イープラス　TEL.0570-06-9960 ※音声自動応答でも承りますが、オペレーター(10:00-18:00)もご選択いただけます。
石川県立音楽堂チケットボックス TEL. 076-232-8632
ローソンチケット（Lコード 32156）・チケットぴあ（Pコード 349-109）・セブンチケット

WEBからの予約もできます。
http://www.ongakudo.jp　石川県立音楽堂　検索
http://www.kajimotoeplus.com/　カジモト・イープラス　検索

主催／公益財団法人石川県音楽文化振興事業団　後援／レンゴー株式会社
マネージメント／KAJIMOTO

オーケストラ・アンサンブル金沢 第401回定期公演
3月17日(土)14:00　石川県立音楽堂

Orchestra Ensemble Kanazawa
The 34th Tokyo Subscription Concert
Monday 19 March 2018, 7 pm
Suntory Hall

Michiyoshi Inoue, Conductor
Kyohei Sorita, Piano

F.Poulenc : Aubade - Concerto choregraphique, FP.51
F.J.Haydn : Symphony No.6 in D major "Le matin" Hob. I :6
F.J.Haydn : Symphony No.7 in C major "Le midi" Hob. I :7
F.J.Haydn : Symphony No.8 in G major "Le soir" Hob. I :8

※未就学児の入場はご遠慮下さい。※都合により内容に変更が生じる場合がございます。

これは、洗練の極致とも言えるプログラムである。
オーケストラ音楽のなかでも、大皿に盛られた味の濃いものばかりが持て囃されがちな昨今、もっと素材そのものを生かした洒落たやり方があるのではないか？室内オーケストラの本懐とは、こうあるべきではないか？というメッセージがここには込められている。前半のプーランクでは、いま人気沸騰中の若手ピアニスト、反田恭平が客演する。だがここで演奏される「オーバード」（朝の歌）は、変幻自在な曲想の変化のなかで、ソリストもオケのメンバーも、全員が対等となって、風のように自由闊達なアンサンブルを組んでいくことが求められる。
ハイドンは基本中の基本であるとともに、音楽家の真の実力を試される、もっともシビアなレパートリーでもある。交響曲の歴史の始まりに位置すると言ってもいい名作3曲の「朝」「昼」「晩」というタイトルは、いわば“日常”ということである。日常のなかで音楽することの大切さを思わずにはいられない。
このコンサートは、マエストロ井上にとって、音楽監督としては最後のOEKの指揮になるが、そこで組まれたこうした未来志向のプログラム、共感をもって耳を傾けたい。

林田直樹（音楽ジャーナリスト・評論家）

井上 道義（指揮） Michiyoshi Inoue Conductor

1946年東京生まれ。ニュージーランド国立響首席客演指揮者、新日本フィルおよび京都市響音楽監督を歴任。1999年、マーラーの交響曲全曲演奏会を実施し「日本におけるマーラー演奏の最高水準」と高く評価された。2007年ショスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクトを企画立案、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。2007年よりオーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督、ならびに石川県立音楽堂アーティスティック・アドバイザーを務め、ラ・フォル・ジュルネ金沢を含む多くの実験的企画を敢行し続けている。2014年4月、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者に就任（兼務）。就任披露演奏会直後、病に倒れるが同年10月に復帰を遂げる。2015年、全国共同制作オペラ「フィガロの結婚」（野田秀樹演出）を総監督として指揮し、10都市14公演の巡回公演を大成功へと導いた。2016年「渡邊暁雄基金特別賞」、「東燃ゼネラル音楽賞」を受賞。自宅にアヒルを飼っていた。
オフィシャルサイト　http://www.michiyoshi-inoue.com/

反田 恭平（ピアノ） Kyohei Sorita Piano

2012年高校在学中に、第81回日本音楽コンクール第1位入賞。2014年チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院に首席で入学。2015年チッタ・ディ・カントゥ国際ピアノ協奏曲コンクール・古典派部門で優勝。また、デビューアルバム「リスト」を日本コロムビアより発売。さらに、年末には「ロシア国際音楽祭」にてマリインスキー劇場デビューを果たす。2016年1月のデビュー・リサイタルは、サントリーホール2000席が完売し、圧倒的な演奏で観客を惹きつけた。8月の3夜連続コンサートは、一般発売当日に完売し、3日間の追加公演を行うなど、もっとも勢いのあるピアニストとして注目されている。最新CDは、2016年リリースされたA.バッティストーニ指揮RAI国立交響楽団とのラフマニノフのピアノ協奏曲第2番のセッション録音。現在、ポーランドを拠点にし、国内外にて演奏活動を意欲的に行っている。
オフィシャルHP　http://soritakyohei.com/

オーケストラ・アンサンブル金沢（管弦楽）
Orchestra Ensemble Kanazawa

1988年、岩城宏之が創設音楽監督を務め、多くの外国人を含む40名からなる日本最初のプロの室内オーケストラとして石川県と金沢市が設立。金沢駅に隣接する石川県立音楽堂を本拠地とし、定期公演、海外公演など年間約100公演を行う。設立時よりコンポーザー・イン・レジデンス（現コンポーザー・オブ・ザ・イヤー）制を実施。ジュニアの指導、邦楽との共同制作など育成・普及活動にも積極的に取り組む。メジャーレーベルより90枚を超えるCDを発売。2007年より、井上道義が音楽監督を務める。公式HP http://www.oek.jp

FSC
www.fsc.org
FSC® C126809
責任ある森林管理のマーク

レンゴーは、製紙から段ボール、紙器製品に至るまで、FSC®森林認証を取得しています。

レンゴーの段ボール、紙器製品が責任ある森林資源の保全にも貢献することが認められました。自社で製造した原紙を使用した段ボール、紙器製品のほぼ全てをFSC認証とすることが可能です。

GPI
ゼネラル・パッケージング・インダストリー
レンゴー

レンゴー株式会社
本　　社 〒530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー TEL.06-6223-2371
東京本社 〒108-0075 東京都港区港南1-2-70 品川シーズンテラス TEL.03-6716-7300